

6-6 研修館計画

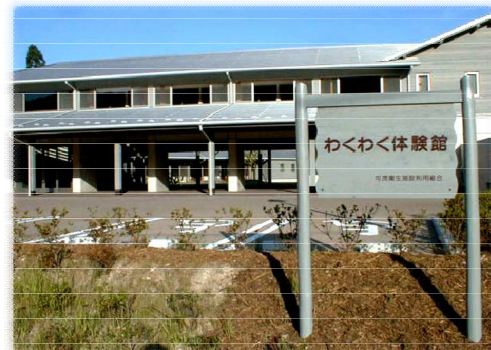
1. 現状

(1) 施設の状況等

目的：廃棄物処理及びリサイクルの啓発を図るための宿泊研修施設。

概要：宿泊施設（44名）、風呂、ガラス工房
体育館

運営：平成18年度から5年間単位で指定管理者
「(財) 可児市公共施設振興公社」が
行っています。



(2) 利用の状況等

ステンドグラス、吹きガラス等のガラス工芸体験（講座）及びリサイクル講座等を中心を実施し、年間1万人が利用しています。

宿泊利用は青少年団体を中心に年間約2千人が利用しています。

また、ゴールデンウィークや夏休みには、親子参加型の講座の開催及び地域資源を活用したガラス製造の再生を実施しています。

2. 課題

- ① 施設や講座の利用は一定しているが、更なる利用促進のための特色ある啓発学習や地域との連携等の事業の展開が必要です。
- ② 平成11年度の開館から12年が経過し、建物や設備の経年劣化による交換・修繕が発生しており、今後更なる対応が必要です。
- ③ 溶解炉、浴室等でガス設備等を利用しており、高温かつ危険物を扱うことでの危機管理が必要です。

3. 計画

(ア) 事業

- ① 指定管理者との連携をより深め、環境・廃棄物処理の啓発事業や体験型講座並びに地域と連携した講座を展開します。
- ② 設備の日常的な点検は、指定管理者にて更に徹底します。
組合は長期維持管理について計画的に進めます。

(2) 財政計画

建物・設備等の老朽化による改修・取替が必要となるため計画的に実施します。

単位：百万円

年度		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35
一般経費 (人件費除く)	一般経常経費	47	47	47	46	46	46	46	46	46	46	46	46	46
工事費	臨時経費(新規 等)設備更新			9		5		10		10		5		
研修館計画 合計		47	47	56	46	51	46	56	46	56	46	51	46	46